

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2019 **10**
令和元年10月29日発行
No.106

やまのべ 議会だより
2019年10月号VOL.106



11月がゴール?!
11月が止まるのな?!

| | |
|------------------|----|
| 第3回臨時会 | 2 |
| 9月定例会 | 4 |
| 町政のここはどうする? 一般質問 | 10 |
| 広報常任委員会の紹介 | 15 |

町ホームページで
議会中継を
発信中!!

写真/安達峰一郎記念保育所運動会
(関連記事 16ページ)

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118

発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/藤庄印刷

あなたの声をお聞かせください

山辺青年会議所の皆さん

町を盛り上げる活動をしています。

東村山AGASUKEマルシェは私たちが主催しました!!

子ども達の健全育成に関わる事業もやっています。

町の方々に山辺青年会議所の活動を知って欲しいです。

私たちと一緒に活動してみませんか?

20歳から40歳まで、男女を問わずどなたでも入会できます。

わたしたちは社会活動を応援します

表紙の説明



安達峰一郎記念保育所の運動会が、9月21日、町民グラウンドで行われました。心配された雨もどこに行つてしまったのでしよう。絶好の運動会日和のもと、さまざまな競技が行われました。

かけっこでは、ゴールテープの手前で立ち止まる子ども達もいました。そこでストップだと勘違いしたのでしようか。あわててかけよつた先生方にうながされ、みんな一緒にゴールしていました。

秋空に輝く子ども達の笑顔は、町民みんなの金メダルのようなものでした。

10月12日から13日にかけて、台風19号が日本列島を横断し、山辺町では初めて避難勧告が発令されました。当町では大きな被害は確認されておきませんが、全国的には甚大な被害が発生しております。この災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々へ衷心よりお見舞い申し上げます。被災された地域の一刻も早い復旧、復興をお祈りいたします。

議会議員一同

編集後記

あれほどの暑さだったのに、今夜は虫の音が心地よく響いています。

令和元年9月、新しい議員が誕生し、議会だよりを担当する「広報常任委員会」の委員も新しくなりました。これまで同様、読みやすくわかりやすい紙面となるよう努めてまいります。

また、皆さまのところへ、緊張しながら取材に伺うこともあると思います。その際には、ぜひ、笑顔で迎えてください。

竹俣朋記

- 発行責任者 樋口 和男
- 広報常任委員会
- | | | | | | |
|-----------|------------|----------|----------|----------|----------|
| 委員長 渡邊 裕二 | 副委員長 神保 裕二 | 委員 伊藤 恭彦 | 委員 斎藤 昭彦 | 委員 伊藤 恭彦 | 委員 竹俣 朋博 |
|-----------|------------|----------|----------|----------|----------|

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。
<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



議長 樋口 和男氏 副議長 斉藤 昭彦氏

開かれた議会、住民福祉の向上を目指す！

新人3人が当選！



議長あいさつ
樋口 和男

8月25日に行われた町議会議員選挙後、新人3人が加わり、新体制で初の臨時会を9月2日に開催し、議長に樋口和男氏、副議長に斉藤昭彦氏を選出しました。

議長は投票となり、樋口和男氏9票、武田啓一郎氏3票の獲得でした。副議長は指名推選となりました。

各常任委員会委員、特別委員会委員などを選任し、4年間の議会活動が始まりました。



副議長あいさつ
斉藤 昭彦

性が問われる時代にあると認識しています。すでに、中心市とその周辺自治体が圏域を作り、従来の公共施設や行政サービスを運営する流れになりつつあり、縮小しつつも充実させていく「縮充」の時代とも言えます。

議会は、提出された議案を精査し、施策の実現可能な有無を判断し、議会に住民参画の機会を設けるなどの工夫が必要になってくると考えています。

日々刻々と変化していく時代の中、開かれた議会を目指し、さらなる住民福祉の向上と町政発展に向け鋭意努力してまいります。

令和元年、新元号のもと町議会議員の改選が行われ、9月の第3回臨時会において、副議長の重責を担う事になりました。議長を補佐し、円滑な議会運営を心掛けるとともに、これからも一層、気を引き締めて議会活動に取り組んでまいります。また、このたびの議会選挙の投票率は62パーセント弱となりま

した。この結果を真摯に受け止め、今までの議会活動を精査しながら、町民皆さまの期待と関心を少しでも高めたいけるよう、足元から着実に歩んでまいります。町民の声を大切にすることはもとより、山辺町の将来を担っていく子ども達が安全・安心に学校へ登下校できるように、これからも見守ってまいります。第5次山辺町総合計画の推進に向けて町民皆さまのご協力を得ながら前進するように頑張ります。町民皆さまにはこれまで以上のご指導、ご鞭撻を頂きますようお願いいたします。

令和元年 新しい議員の誕生！



各委員会等の構成

◎委員長
○副委員長

◆総務文教常任委員会

- ◎遠藤真由美
- 樋口 和男
- 渡邊 裕二

○伊藤 恭子
武田啓一郎
峯田 博

◆厚生産業常任委員会

- ◎神保 稔
- 齊藤 昭彦
- 佐藤 利和

○安達 春彦
鍋倉 竹志
竹俣 朋

◆広報常任委員会

- ◎渡邊 裕二
- 齊藤 昭彦
- 峯田 博

○神保 稔
伊藤 恭子
竹俣 朋

◆議会運営委員会

- ◎鍋倉 竹志
- 齊藤 昭彦
- 渡邊 裕二

○遠藤真由美
神保 稔
伊藤 恭子

◆国道458号改良促進特別委員会

- ◎武田啓一郎
- 齊藤 昭彦
- 遠藤真由美

○渡邊 裕二
鍋倉 竹志
神保 稔

◆行財政調査特別委員会

- ◎鍋倉 竹志
- 齊藤 昭彦
- 遠藤真由美

○佐藤 利和
武田啓一郎
神保 稔

◆最上川中部水道企業団議会議員

- 武田啓一郎
- 渡邊 裕二

神保 稔

◆山形広域環境事務組合議会議員

- 遠藤真由美
- 安達 春彦

安達 春彦

◆山辺町振興審議会委員

- 武田啓一郎
- 安達 春彦

遠藤真由美
峯田 博

◆山辺町都市計画審議会委員

- 齊藤 昭彦
- 佐藤 利和

伊藤 恭子
竹俣 朋

◆山辺町社会教育委員

- 佐藤 利和

竹俣 朋

◆山辺町ふるさと資料館運営委員会委員

- 佐藤 利和

鍋倉 竹志

◆山辺温泉保養センター運営協議会

- 武田啓一郎

神保 博

◆民生児童委員推薦協議会

- 樋口 和男

神保 稔

◆山辺町社会福祉協議会監事

- 神保 稔

理 事 齊藤 昭彦

◆山辺町観光協会

- 副会長 樋口 和男
- 理 事 齊藤 昭彦

みんなの暮らしに
こう役立ちました！

平成30年度 一般会計・特別 さらなる安全・安心・暮ら

会計総額 90億7152万円 しやすいまちづくりの推進



第3回定例会
9月13日～27日

◎豊かで活力のある産業のまちづくり

1億1686万円

商工業・観光振興／農業担い手育成支援／有害鳥獣被害対策／玉虫沼農村公園委託／三河尻排水路整備など

◎美しく住みやすい安全・安心なまちづくり

3億7904万円

コミュニティバス運行／山辺温泉保養センター委託／防犯事業／地域コミュニティ推進／交通安全事業／住宅建設支援／除雪事業／常備消防活動／消防団活動／ドクターヘリ支援など

◎人にやさしい環境型のまちづくり

1億5035万円

エネルギー回収施設負担／ごみ減量化対策／ごみ処理対策など

◎健やかで安らぎのある助け合いのまちづくり

2億8440万円

疾病予防／母子保健／健やか健診・検診／健康延伸／子育て支援／保育の実施／幼稚園奨励補助／放課後児童クラブ推進など

◎人と心と文化を育むまちづくり

1億8235万円

小・中学校管理／公民館管理／資料館・交流センター管理／芸能文化振興／体育スポーツ振興／体育施設維持管理など

監査委員報告

平成30年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算について、それぞれの関係諸帳簿、証拠書類と照合した結果、適正に処理されているものと認める。

- なお、次の事項について、今後一層努力されることを望みたい。
1. 現在取り組んでいる各事業については、PDCAサイクル^{*}による「C」の検証と見直し、改善を実施されたい。
 2. 予算に対して多額の不用額が見受けられる課もあるため、早い段階で精査し、減額補正を行うなど、適正な財政運営を図られたい。
 3. 各種事業や団体に補助金を交付している場合は、長期にわたり恒常的に安易に交付していないか、本来の趣旨に沿った補助内容なのか、補助金の額が適正なのか、十分調査、点検、検証するよう検討されたい。
 4. 消耗品費や光熱水費については、本庁舎はもちろんのこと町施設全体で節減に関して再度意思の統一を図りながら、徹底した節減に努められたい。
 5. 常に職場環境をはじめ業務内容などの点検・整備を行いながら、意欲的な職員の育成ならびに健康増進に努められたい。



渡邊俊博代表監査委員

^{*} Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善)、この4つを繰り返すことにより継続的に改善していく手法のこと

平成30年度一般会計主な重点事業

☆ふるさと応援事業

平成30年度寄附状況 (県内：53件、県外7,426件)

| 寄附目的 | 件数 | 金額 |
|------------------------|--------|--------------|
| ①子育てと元気のまちに関する事業 | 4,325件 | 66,412,000円 |
| ②こだわりの「ものづくり」のまちに関する事業 | 1,296件 | 22,432,790円 |
| ③協働と安全安心のまちに関する事業 | 280件 | 4,290,000円 |
| ④町政一般に対する寄附 | 1,578件 | 24,054,000円 |
| 計 | 7,479件 | 117,188,790円 |

記念品：さくらんぼ、りんご、ラ・フランス、米、豚肉、カーペット類
酒類その他 201品目

平成30年度 決算状況

| 項目 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | |
|------|---------------|---------------|---------------|
| 一般会計 | 53億8966万667円 | 52億5176万9314円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 14億4637万326円 | 14億46万8315円 |
| | 簡易水道等 | 2204万6083円 | 2134万9173円 |
| | 公共下水道 | 5億112万3261円 | 5億112万3261円 |
| | 介護保険 | 15億4092万3969円 | 15億68万6813円 |
| | 後期高齢者医療 | 1億7139万9842円 | 1億6887万4342円 |
| | 計 | 36億8186万3481円 | 35億9250万1904円 |
| 合計 | 90億7152万4148円 | 88億4427万1218円 | |



エネルギー回収施設 (上山市)



非常時に備えた機器点検



山辺温泉保養センター

定例会のあらまし

第3回定例会では、町教育委員任命の同意をはじめ、条例の改正4議案、一般会計決算および特別会計決算5議案、ならびに補正予算を審議し、原案どおり可決されました。また、町道路線の認定、選挙管理委員と補充員の選挙についても、いずれも原案どおり可決、認定されました。平成30年度健全化判断比率および公営企業の資金不足比率について報告されました。

町民の暮らし向上に どのように活かされたか!

チェック

決算特別委員会

Q&A

9月13日に、議長を除く全議員が所属する決算特別委員会が設置され、委員長に神保稔氏、副委員長に渡邊裕二氏を選出いたしました。19・20日は総務文教関係、24・25日は厚生産業関係を審査し、27日の本会議にて全会一致で認定しました。

総務文教

第1分科会

総務課・防災対策課・税務課・会計課・政策推進課
教育委員会教育課・議会事務局

Q 歳入全体で「今後一層財政状況が厳しくなる想定」とは、

(総務課)

A 平成22年に防災放送などを設置した。その後、機器の更新や、保守点検、修善に努めている。また、毎年防災放送塔34基を回り位置の確認や調整を行っている。

Q 平成29年からマイナンバーの利用で情報の連携ができるようになり、減少につながっている。

(税務課)

Q Jアラート機器の更新の状況は、

(総務課)

Q 消防事務委託料が毎年増加しているがどうなっているのか。また、ドクターヘリ支援車両の出動件数は、

Q 国税連携など、e-LTAxの状況は、

(税務課)

A 国税庁からの所得税確定申告データ件数は、昨年より1.2倍の伸びとなっている。

(税務課)



緊急時すぐ飛べるドクターヘリ

Q 消防事務委託料には、消防のほかに救急も含まれている。平成30年は救急車の出動件数が490件あり、年々増加している。そのため、消防施設の維持管理費が増加している。ドクターヘリ支援車両の出動は3回だった。

(防災対策課)

Q 6月にPRを実施した。県が進めている、子育て応援企業の周知にも努めている。

(政策推進課)

Q 町民プールの目玉であるウォータースライダーが使用できない状態だが、今後の計画は、

(政策推進課)



早期改修が待たれるウォータースライダー

A 部分修理はできなく、全部交換を取っているが、予算との兼ね合いがある。

(教育課)

Q Taiken堂の受講者に収支決算書を提出しているか。

(教育課)

A 提出していない。今後、検討する。

(教育課)

厚生産業

第2分科会

町民生活課・保健福祉課・産業課
農業委員会・建設課

Q イノシシの駆除対策は、

(産業課)

A 被害防止対策協議会を組織し活動しているが被害は年々増えている。その原因の一つとして、耕作放棄地の増加や、果樹園地に摘果した果実を放置している状況が考えられる。地域全体として被害防止への理解も必要だと考えている。

Q 松くい虫の駆除やナラ枯れ防止対策は国・県の補助を活用し実施している。今あるナラに患いしている薬剤を注入しており、被害木は減少傾向にある。

Q 町営バス利用者が前年度と比べて750人減となっている。今後の運用や増便の計画は、

Q 山辺温泉保養センターの修繕料の内容は、

Q 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

(保健福祉課)

Q 「ラベンダー祭」の現況は、

(産業課)

A 平成29年度は19,750人、平成30年度は17,500人で2,000人以上減った。これは、気象状況が主な原因と考えられる。

Q ブロック塀補助金の内容は、

A 確かに利用者は減っている。運転免許証の自主返納者に対し無料乗車券を交付している。増便は委託料の関係もあるため、現在のところ難しい。

A 主なものとして、電源設備の修繕や源泉ポンプの入れ替えなどの11件を実施し、サービス維持に努めた。なお、指定管理者が行った修繕は入っていない。

Q 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

(保健福祉課)

Q 森林病害虫の状況は、

(産業課)

A 平成29年度は19,750人、平成30年度は17,500人で2,000人以上減った。これは、気象状況が主な原因と考えられる。

A ブロック塀を撤去する工事に基準額の1/2、限度額15万円を補助するが、利用者が少ない。22

A 確かに利用者は減っている。運転免許証の自主返納者に対し無料乗車券を交付している。増便は委託料の関係もあるため、現在のところ難しい。

A 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

Q 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

(保健福祉課)



「ラベンダー祭」が開催されたかおりの広場



町民皆さまに利用していただいたコミュニティバス

A 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

(保健福祉課)

Q 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

(保健福祉課)

Q 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

(保健福祉課)

Q 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

(保健福祉課)

A 小中学校などからの患報告は、

Q 令和元年度より支援員が1名加わった。今年度は婚活イベント補助金の申請があり、一団体が開催支援員は必要である。

(保健福祉課)

消費税率・子育て支援法の改正等に伴い 令和元年度 一般会計補正予算 1億622万円を追加し、

特別会計補正予算

| 会計名 | 内容 | 本年度予算額 |
|-------------|---|-----------------|
| 国民健康保険特別会計 | 令和元年度山形県国民健康保険事業費納付金の額の確定により、歳入歳出それぞれ1990万円を追加。 | 総額 15億1021万円 |
| 簡易水道等特別会計 | 平成30年度の繰越金の確定と減額はなく、歳入予算額を調整。 | 総額 3376万円 |
| 介護保険特別会計 | 平成30年度介護給付費等の確定により国・県・支払基金への返還分3182万円を追加。 | 総額 16億7624万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 平成30年度の繰越金の確定により、歳入歳出それぞれ252万円を追加。 | 総額 1億6064万円 |

条例改正や補正予算などを可決

総額 54億3643万円

主な条例の制定

- ・山辺温泉保養センターの設置及び管理に関する条例の全部改正
現在の条例は、指定管理者制度を中心とした内容であるものを、町も指定管理者同様、保養センターの管理運営を可能とするために条例を改正する。
- ・町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正
子ども・子育て支援法等の改正に伴い、用語などの文言の整理を行うために条例を改正する。
- ・町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
子ども・子育て支援法等の改正及び副食費等の取扱いの整備を行うため、町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例を改正する。
- ・町医療給付金支給条例の一部改正
令和元年5月17日に「山形県医療給付事業補助金交付規程」の一部改正が行われたことを受け、町条例の所要な改正をする。
- ・町道路線の認定
町民生活の基盤の安定を図るため、境ノ目団地16号線（延長約74m、幅員6m）を町道路線として認定するもの。

令和元年度補正予算

一般会計の主な補正内容

- ・公共施設等再生整備基金への積立て 3000万円の増額
- ・福祉灯油購入費助成 170万円の増額
- ・介護保険料第1から第3段階対象者への軽減上乘せ 600万円の増額
- ・待機児童対策に伴う一時預かり事業 199万円の増額
- ・幼児教育無償化対策に伴う補足給付及び預かり事業施設等利用費 1158万円の増額
- ・除雪体制の充実 3000万円の増額

報告案件

平成30年度健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率

| | | |
|------------------|-----|-------|
| ①実質赤字比率・連結実質赤字比率 | H28 | 9・8% |
| ②実質公債費比率 | H28 | 9・8% |
| ③将来負担比率 | H28 | 10・5% |
| | H29 | 9・7% |
| | H30 | 10・5% |
| ④資金不足比率 | H28 | 61・3% |
| | H29 | 79・4% |
| | H30 | 80・1% |

④資金不足比率は資金不足額（赤字額）なし

人事案件

山辺町教育委員会委員任命の同意

白田 宗綱氏

町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

選挙管理委員 三浦陽子氏・吉田幸市氏・武田功一氏・村山賢司氏
補充員 宗田一彦氏・大松昭司氏・樋口秀顕氏・元木幸子氏

議会が「政策提言書」を町に提出

町の政策が発展的、効率的に行われるよう総務文教常任委員会、厚生産業常任委員会、広報常任委員会でそれぞれ議論し、検討してきた政策の方向性を「提言書」として取りまとめ、10月23日樋口和男議長から町長へ提出しました。

◎働き方改革で職場環境見直しを

町職員の健康診断やストレスチェックの結果では、まだまだ高ストレスの状況にあるようだ。今後、働き方改革など、更なる職場環境の見直しとともに、仕事に対する意欲と能力を十分発揮できるように講じてほしい。

◎豊かな暮らしに繋がる財政運営を

第3次行財政改革大綱を進めている中、スクラップ&ビルドを行う際には、住民への説明責任を明確にし、住民サービス向上や安全安心で豊かな暮らしにつながるように取り組んでほしい。

◎子どもたちにさらなる未来投資を

町内の子どもたちはたくましく育っている。第5次総合計画の柱の1つである「子育てと元気のまち」に基づき、子どもたちの夢の実現や可能性を高めることは、町の将来につながる。文化・スポーツをはじめ全般に渡り積極的に子どもたちへの未来投資を図ること。

◎さらなる健康寿命の延伸を

超高齢化の進展の中で、生活習慣病や重症化などの予防事業を積

極的に推進するとともに、町民の健康に対する意識をさらに向上させるなどの取組みに努めること。

◎コミュニティバスの利用促進を

利用者は年々減少している。免許返納者のみならず全ての高齢者に無料乗車券の発行やフリー区間の設定など町民のニーズに適した運行と利便性に努めること。

◎婚活事業の積極的な推進を

地域のイベントなどと融合した事業を開催するなど、積極的な企画、支援に努めること。

◎山辺温泉保養センターの利用促進を

入湯者は年々減少している。運営者の創意工夫により利用者のリフレッシュなどにもつながることから、さらに利用拡大に向けた点検、検証を行い、快適な施設の利用に努めること。

◎有害鳥獣被害の防止策の強化を

特にイノシシによる農作物への被害が年々増加し、また広範囲化している。防止策のさらなる強化と早急に行政間での緊密な連携を構築し、被害の未然防止に努めること。

果樹対策

りんご黒星病対策など 緊急対策で農家を守って

(町長) 町が誇るりんごを守るため対策に努めていく



武田啓一郎

質問 町の特産品りんごに異変、黒星病が拡散している。把握状況と防疫対策の状況は。

答弁 町内全域において、りんご黒星病の発生が見られ、特に6月下旬の連日降雨により、7月以降に発生程度が増加している。対策と指導などについては、村山総合支庁農業技術普及課を中心に「JAやまがた果樹部会」などの生産団体を介して、生産農家に対する指導および注意喚起を呼び掛けている。8月の「山辺りんご生産者大会」でも、黒星病対策の研修会が開催され、「定期的な園地の巡回」「適切な薬剤散布」「発病果の摘果・

処分

質問 町内農薬取扱店の中には、対策に躊躇手をこまねいてはられないかと、先に被害が拡散した青森から講師を緊急で招き、農薬メーカーも加わり、公開講習会を開催。山形県では使用を進めて



満席となった黒星病対策の公開講習会では、盛んな質疑応答が...

いない湿展性の展着剤の話が浮上するなど、対応は時間との闘いともなっている。行政は危機管理として、最大限迅速かつ効果的な支援対策を陣頭指揮すべきではないか。

答弁 薬剤には効果がある。りんご黒星病に合った選択、適正使用し、安全に使ってほしい。

黒星病に関する情報は、緊急チラシを全世界に配布するなど、対



りんご黒星病が確認されるりんご果実

質問 青森では、防除費用の助成が行われている。県や近隣市町の情報を把握し、通常年との差額の試算を行いながら、他の果樹とのバランスを考慮しながら検討したい。

答弁 青森では、防除費用の助成が行われている。県や近隣市町の情報を把握し、通常年との差額の試算を行いながら、他の果樹とのバランスを考慮しながら検討したい。

質問 発生拡散の源と作放棄地の対策は。

答弁 少なからず悪影響を与える。農地の適正管理、耕作放棄地などの未然防止に努めていく。

町が誇るりんごを守っていくためにも、情報収集に努め、県など専門機関と協力し、適切な対策に努めていく。

質問 黒星病による減収は、営農の命となり、特産品の消滅にもなりかねない。減収補填をはじめ、防除費用に対する助成措置も検討すべきでないか。

答弁 営農の命となり、特産品の消滅にもなりかねない。減収補填をはじめ、防除費用に対する助成措置も検討すべきでないか。

質問 感染樹木および落葉、落下果実などの処分、来春の芽出しまでの対策は、どのような組織体制で臨んでいくのか。

答弁 感染樹木および落葉、落下果実などの処分、来春の芽出しまでの対策は、どのような組織体制で臨んでいくのか。



町政の一般質問 ここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

傍聴しませんか 次回の定例会は12月です。お気軽にお越しください。電話 023-667-1117(議会事務局)

9月の定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。

- 武田啓一郎** 果樹対策 りんご黒星病対策など 緊急対策で農家を守って
- 竹俣 朋** 社会福祉 自立問題および当面の社会的弱者への支援策は
- 安達 春彦** 施設運営 公民館などの火気取り扱いならび維持管理は
- 峯田 博** 国保税・高齢者補助 ①国民健康保険税の18歳以下の子どもに対する「均等割額」廃止を ②ハンドル型の電動車いす使用の方への補助金制度の新設

町ホームページで 議会中継を 発信中!!

※一般質問は一問一答方式ですが、誌面の関係で主な質問と答弁を掲載しています。

一般質問

公民館などの火気取り扱い ならび維持管理は

(町長)「みんながつながる 協働のまち やまのべ」の実現に向けて地域コミュニティ活動の推進・支援を行いたい



安達 春彦

質問 今後、煙や火災の危険性など近隣住宅に及ぼす影響などを十分考慮するとともに、公民館と情報共有し連携を図りながら統一した運用方針を

回答 自主防災組織の活動として自主

質問 もっと自由に公民館やコミュニティセンターを活用したいという利用者の声がある。中でも季節の風物詩の芋煮を屋外で行いたいという具体的な要望もあるが、現在は駐車場も含め屋外で火を使用することは禁止となっている。地域コミュニティ活動の拠点として、より多くのニーズに応える施設にするためにも、社会の変化に対応した利用基準へと緩和する必要があるのでは。

回答 社会教育という観点で現代に合わせた災害対策を施設で日常的に行えるようにできないか。



災害対応としての施設利用促進を



質問 社会教育という観点で現代に合わせた災害対策を施設で日常的に行えるようにできないか。

回答 社会教育法により「放課後の学習の場」として利用したいなどの要望は原則対応することができないが、この点でも社会の変化に対応すべく利用基準を緩和できないか。

質問 子どもたちだけを対象とした利



学びの場としての利用も期待

※自宅・職場に次ぐ居場所のこと。出会いや良好な人間関係のために重要な場。

自立問題および当面の 社会的弱者への支援策は

(町長) 限られた予算の中で支援事業を行っている



竹俣 朋

質問 長らく平成の時代をけん引してきた町長の政治信条は。

回答 「公平・公正・公開」を基本理念に、多様な住民の声の存在を尊重しながら、その声を聴くことが一番重要なことであり、ささやかでも住民一人ひとりが、それぞれの幸せを実感できるように、一歩でもその幸せに近づける努力をすることが大切だと考えてきた。

質問 『自立』という言葉に使う傾向があるが、『自立』をどのように考えているのか。



障がい個性 私たちだって、生涯働き、自立し、心豊かに暮らせるはず

質問 指摘の通り、自らの力で経済的に自立することは生活をしていくうえで当然重要なことだ。しかし、さまざまな理由により経済的に自立したくてもできない方がいることも事実だ。周囲の配慮・支援、社会的な障壁の除去、住み慣れた地域での社会参加など、経済的な自立を含めさ

回答 福祉分野の自立の側面には「日常生活自立」と「社会生活自立」と「経済的自立」がある。人は誰かがいないと生きていけないものだ。頼る力、まかせられる力も自立には必要だ。さまざまな住民の声を受け一歩ずつ進めていく。

質問 具体的に経済的自立対策を行う考えは。

回答 高齢者や障がい者に対し、町が当面行う事業は。現在、高齢者に対し、「山辺温泉」入浴回数券の購入助成、「ピンとシヤン教室」「輝りりシニアクラブ」「いきいき教室」を開催している。在宅介護者に「紙おむつ」と「山辺温泉入浴券」の支給、「介護者激励会」の開催を行っている。障がい者支援として、「福祉タクシー券」「福祉給油券」の

さまざまな要因を総合してとらえる必要があると考える。



農村の原風景（大蔵棚田） 自然にとけこむ事業はできないだろうか…



質問 高齢者や障がい者に対し、町が当面行う事業は。

回答 現在、高齢者に対し、「山辺温泉」入浴回数券の購入助成、「ピンとシヤン教室」「輝りりシニアクラブ」「いきいき教室」を開催している。在宅介護者に「紙おむつ」と「山辺温泉入浴券」の支給、「介護者激励会」の開催を行っている。障がい者支援として、「福祉タクシー券」「福祉給油券」の

質問 給付事業が主なようだが、もっと積極的な町独自の事業はないのか。

回答 限られた予算の中なので、先ほど答弁した内容でまずは行っていく。

質問 老朽化した公民館などに関して、維持管理コストを鑑み、施設運営の取捨選択を議論し、新しいことにも取り組んでいく必要があるのでは。

回答 今後の課題のひとつとして慎重に検討を重ねていく。

質問 総合計画にもあるようにサードプレイス※としての利用手段を拡張すること

回答 町のHPが有効だと考えている。利用できる、できないという基準に関してはHPや媒体での掲載を検討していく。

質問 さらなる地域コミュニティ活動の促進としてSNSやメディアなどを活用し情報発信を強化できないか。

回答 町が可能なかどうか検討していく。

はできないか。

みなさん、お疲れ様でした



齋藤 邦彦氏
在職 8年



渡辺 知広氏
在職 12年



本田四志子氏
在職 12年

3人の議員が退任

8月の改選にあたり、3名の議員が退任されました。町民皆さまの負託を受け、声を届け、町政発展にご尽力いただきました。



議会だよりへのご意見もぜひお聞かせください

私たちが手づくりしています
広報常任委員会

このたびの議員改選にもなつて、広報常任委員会のメンバーも新しくなりました。多くの皆さまに手に取って読んでいただける議会広報紙づくりを目指すため、各議員の思いが詰まった「一般質問」のページや、「議員のあいさつ」の部分はなるべくそのまま掲載しますが、それ以外の文章は、よりわかりやすい記事にしたいと思っています。これはどういう意味？や、ここはどのような事？など、わからないことがあれば何でもお尋ねください。議会報告会や出前議会など、皆さまと直接お話しする機会もありますので、ぜひご利用いただきたいと思ひます。皆さまからいただいたご意見を町政に反映できるよう頑張つてまいります。

イベント情報

| イベント | 場所 | 期日 | 内容 | 問合せ |
|------------------------------------|-----------|----------------------|---|-------------------------------|
| 山形市 第6回 山形ビッグウイング フェスティバル | 山形ビッグウイング | 11月30日 ～ 12月1日 | 「食」をテーマにした「村山広域7市7町うまいものフェア」と様々なイベントが同時に開催されます。 | 山形ビッグウイング Tel 023-635-3100 |
| 上山市 上山城元旦登城 | 上山城 | 1月1日 | 上山城の天守閣で「三つの吉」と書く、三吉山からの初日の出パワーを貰いましょう。先着300名にプレゼント進呈します。 | 上山城郷土資料館 Tel 023-673-3660 |



町の災害情報メールにご登録ください。

緊急時に町からのお知らせが届きます。

<https://service.sugumail.com/yamanobe/> (携帯)
<https://service.sugumail.com/yamanobe/member/> (PC)

電話でも内容が確認できます ☎ 023-629-0011

国保税と高齢者補助

国保税の18歳以下の「均等割額」廃止を

(町長) 収入不足となり、法定外繰り入れは適切でない



峯田 博

質問 国保加入世帯で子育て世帯の数と18歳以下の子ども人数は。

答弁 8月1日現在で18歳以下の子どもがいる国保加入世帯数は80世帯で、18歳以下の国保加入者数は130人。

質問 国保税の高額負担の要因は、「均等割額」がある。所得の無い子どもの人数にかかると「均等割額」を18歳以下の子どもには減免できないか。

答弁 均等割を軽減すると、国保税の収入に不足が生じ、不足分を補填する必要が生じる。国保会計の赤字解消のための法定外

繰り入れを解消するとした制度改革の趣旨にそぐわない。また、国が行う支援策である保険者努力支援制度では、法定外繰り入れを行うと交付される金額が少なくなり、法定外繰り入れは適切ではない。



すくすく育て、のべっ子

質問 コミュニティバス利用者から、「休日の運行」や「運行の増便を」とか、障がい者からは「停留所が遠い」との要望は。

答弁 アンケート調査やモニタリングの実施では、その内容の要望はなく、現在のところ問題点はないと考えるため、このまま継続していく。増便は人件費などの負担増、指定管理料の増額につながるため、難しい。



シルバーカー (電動車いす)

質問 町場でのフリーストップは。

答弁 交差点から5メートル以内は停車できない。バス停は交差点の30メートル以内は設置できないなど、その他さまざまな条件があり難しい。

電動車いすへの補助金制度新設を

質問 運転免許証の自返納者、足腰が弱くなっている高齢者が電動車いすを利用し、移動することへの「移動の自由の保障」は基本的な人権を守ること

である。電動車いすの利用者への補助制度の新設を。

答弁 町独自の補助制度の創設は、現在のところ困難である。

質問 電動車いす利用者が事故に遭わないような安全対策は。

答弁 現状では「ゆずり合いの精神」で周囲を確認し通行されるようお願いしたい。また、整備については、新たな道路や道路を改良する場合は歩道設置を検討していく。